

令和4年度 事業報告

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

社会福祉法人明和町社会福祉協議会

目 次

- I. 令和4年度社会福祉事業報告
 1. 法人運営事業
 - 1-①. 理事会
 - 1-②. 評議員会
 - 1-③. 評議員選任・解任委員会
 - 1-④. 主な社協事業の状況
 - 1-⑤. 職場内会議・研修
 2. 社会福祉事業の普及啓発
 - 2-①. 地域福祉（活動）計画の推進
 - 2-②. 地区福祉委員会の活動助成（自治会長・民生児童委員）
 - 2-③. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の交流（おでかけ交流会）
 - 2-④. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等への歳末見舞い
 - 2-⑤. 広報誌の発行
 - 2-⑥. 社協ふれあい祭りの実施
 - 2-⑦. 明和町社会福祉協議会会長表彰
 3. 各種運動の推進・寄附金
 - 3-①. 日本赤十字社募金運動
 - 3-②. 社協会員増強月間
 - 3-③. 赤い羽根共同募金運動
 - 3-④. 歳末たすけあい運動
 - 3-⑤. 寄附金
 4. 福祉用具等の貸出に関する事業
 - 4-①. 福祉機器等の貸出（ベッド・車いす）
 - 4-②. バザー用品等の貸出
 - 4-③. 祭壇の貸出事業（祭壇・天幕・鯨幕）
 - 4-④. 地域コミュニティー備品貸出事業
 5. 地域支え合い体制づくり事業
 - 5-①. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等の実態調査事業
 - 5-②. 明和町サロン支援事業
 - 5-③. 介護支援ボランティア活動推進事業（高齢者有償ボランティア活動ポイント支援事業）
 - 5-④. めいわサポーター【めいサポ】活動推進事業
 - 5-⑤. 配食サービス事業

- 5-⑥. 生活支援サポーター養成事業
(高齢者有償ボランティア活動者・めいわサポーター【めいサポ】担い手養成事業)
- 5-⑦. 災害ボランティアの育成
- 5-⑧. 明和学びの里運営事業
- 5-⑨. 支援対象児童等見守り強化事業
- 5-⑩. OBENTO PROJECT 事業

- 6. 介護者支援に関する事業
 - 6-①. 家族介護者支援対策事業 (低所得者紙おむつ券給付事業)
 - 6-②. 寝たきり高齢者等紙おむつ券給付
 - 6-③. 重度障がい者日常生活用品 (紙おむつ券) 給付
 - 6-④. 家族介護教室

- 7. 暮らしの相談・支援事業
 - 7-①. 福祉なんでも相談 (社協の総合相談)
 - 7-②. コミュニティソーシャルワーカー (生活支援コーディネーター) の配置
 - 7-③. 成年後見制度に関する事業
 - 7-④. 日常生活自立支援事業 (権利擁護)
 - 7-⑤. 生活困窮者自立支援事業
 - 7-⑥. みえ福祉の「わ」創造事業
 - 7-⑦. 生活福祉資金の貸付
 - 7-⑧. 地域福祉金庫の貸付

- 8. 福祉教育に関する事業
 - 8-①. UMOUプロジェクト
 - 8-②. 福祉協力校
 - 8-③. 福祉体験教室
 - 8-④. ボランティア・サマースクール

- 9. ボランティアセンター運営事業

- 10. 一般介護予防事業
 - 10-①. えんがわ教室
 - 10-②. 筋力脳力あつぷ教室

II. 令和4年度各事業利用実績

1. 居宅介護支援事業プラン作成実績
2. 高齢者通所介護事業利用実績
3. 障がい者福祉サービス事業（ありんこ）利用実績
4. 地域活動支援センター事業利用実績
5. 指定特定相談支援事業所サービス等利用実績
6. 共同生活援助事業（やわらぎ）利用実績

令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会
事業報告

I. 令和4年度社会福祉事業報告

1. 法人運営事業

1-①. 理事会

開催日	議案・承認
令和4年 4月8日	<p>第1回（書面による決議）</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3号収支補正予算</p> <p>② 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について</p> <p>③ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について</p> <p>④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について</p> <p>⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について</p> <p>⑥ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について</p> <p>⑦ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会定款の一部改正について</p> <p>⑧ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1回評議員会の開催について 決議があったとみなされた日 令和4年4月18日</p>
令和4年 6月1日	<p>第2回</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第4号収支補正予算</p> <p>② 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業報告について</p> <p>③ 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支決算認定について</p> <p>④ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2回評議員会の開催について</p> <p>⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦及び、評議員選任・解任委員会の招集について</p> <p>⑥ 専決処分した事項の承認について 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1号収支補正予算</p>
令和4年 12月19日	<p>第3回（書面による決議）</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算</p> <p>② 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について</p> <p>③ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について</p> <p>④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦及び、評議員選任・解任委員会の招集について</p>

<p>令和 5年 3月16日</p>	<p>⑤ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3回評議員会の開催について 決議があったとみなされた日 令和4年12月28日</p> <p>第4回</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3号収支補正予算</p> <p>② 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について</p> <p>③ 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について</p> <p>④ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第4回評議員会の開催について</p>
------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1-②. 評議員会

開催日	議案・承認
<p>令和 4年 4月18日</p>	<p>第1回（書面による決議）</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3号収支補正予算</p> <p>② 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について</p> <p>③ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について</p> <p>④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について</p> <p>⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について</p> <p>⑥ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について</p> <p>⑦ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会定款の一部改正について</p> <p>決議があったとみなされた日 令和4年4月25日</p>
<p>令和 4年 6月 1日</p>	<p>第2回（書面による決議）</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第4号収支補正予算</p> <p>② 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業報告について</p> <p>③ 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支決算認定について</p> <p>④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事の選任について</p> <p>⑤ 専決処分した事項の承認について 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1号収支補正予算</p> <p>決議があったとみなされた日 令和4年6月15日</p>
<p>令和 5年 1月11日</p>	<p>第3回（書面による決議）</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算</p> <p>② 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事の選任について</p> <p>決議があったとみなされた日 令和5年1月20日</p>

令和 5年 3月16日	第4回（書面による決議） ① 専決処分した事項の承認 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3号収支補正予算 ② 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について ③ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について 決議があったとみなされた日 令和5年3月28日
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1-③. 評議員選任・解任委員会

開催日	議案・承認
令和 4年 6月21日	第1回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員の選任について

1-④. 主な社協事業の状況

開催日	事項	開催場所
令和4年		
4月23～24日	アースデイイベント	イオンモール明和
5月1日～ 5月31日	日本赤十字社社資募集期間	明和町内
5月 7日	UMOOU（資源）回収	上御糸小学校
8日	UMOOU（資源）回収	齋宮小学校
16日	監事監査	明和の里
28日	UMOOU（資源）回収	修正小学校
30～31日	マルシェ支援	北野公民館
6月 4日	UMOOU（資源）回収	下御糸小学校
6日	学びの里開校式	中央公民館
18日	UMOOU（資源）回収	大淀小学校
7月1日～ 7月31日	福祉のまちづくり資金（社協会費）募集期間	明和町内
7月 7日	家族介護教室① （「お口は元気の源！安心安全な口腔ケア」）	
18日	サマースクール（なつまるフェスタ）	齋宮歴史博物館ふるさと広場
8月12日	夏祭り支援	竹神社
9月 9日	家族介護教室② （「認知症の理解とケア」「地域包括支援センターの役割」）	
9月23～25日	パートナーシップSDGsイベント	イオンモール明和店
10月1日～	赤い羽根共同募金運動実施期間	明和町内

12月31日		
10月8日	あかなご野球フェスタ 赤い羽根共同募金街頭募金	明和中学校第二グラウンド イオンモール明和店
10月23日	UMO (資源) 回収	齋宮小学校
29日	福祉体験教室 (こむすび舎秋祭り)	明和の里・ありんこ周辺
11月1日	三重県社会福祉大会	県総合文化センター
5日	UMO (資源) 回収 赤い羽根共同募金街頭募金	下御糸小学校 スーパーサンシ明和店
11月10日	家族介護教室③ 「ピンシャン 元気で 長生きを!!」	
19日	UMO (資源) 回収	大淀小学校
24日	功労者表彰式	明和の里
26日	UMO (資源) 回収 赤い羽根共同募金街頭募金	上御糸小学校 ぎゅーとら明和店
11月25日～ 12月10日	歳末たすけあい募金募集期間	明和町内
12月3日	UMO (資源) 回収	明星小学校
令和 5年		
1月29日	成年後見サポートセンター公演会	中央公民館
3月5日	多世代交流 ひな祭りイベント	明和の里

1-⑤. 職場内会議・研修

会議・研修名・講師	参加職員
<p>●職場内会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議 (定例: 12回) ・衛生委員会 (定例: 12回) ・感染症対策 BCP 策定委員会 (全7回) ・災害対策 BCP 策定委員会 (全6回) ・虐待防止委員会 (全5回) ・資質向上委員会 (全8回) 	<p>会長・局長・次長・課長 会長・局長・次長・課長・衛生管理者・従業員代表 担当職員 担当職員 担当職員 担当職員</p>
<p>●職場内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策研修会 (各部署) 	<p>全職員</p>
<p>●外部研修 (三重県社会福祉協議会主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース) 	<p>対象職員4名</p>

2. 社会福祉事業の普及啓発

2-①. 地域福祉（活動）計画の推進

事業目的	<p>本計画を推進するため「明和町地域福祉（活動）計画推進委員会」を開催し、計画の進捗状況の把握・検証、取り組みの評価を実施します。</p> <p>町の福祉、保健、教育、人権問題、まちづくり、防災、生活環境など様々な分野の担当課と本会による連携の場をもち、情報共有、共同での課題解決、新たな取り組みへの研究・検討など連携につとめます。</p>
事業実績	<p>●地域福祉連絡会議</p> <p>第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画に向けた検討について</p>
事業評価	<p>●行政担当課との連絡会議を開催し、第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定する上での要点の確認をいたしました。</p>
今後の課題	<p>●地域福祉計画・地域福祉活動計画は、明和町総合計画を上位計画とし、各分野が共通して取り組む事項を整理し、各計画との整合性と福祉・保健・医療及び生活関連分野での連携を図る計画ですが、第1期では連携不足の部分がありましたので、第2期では連携を図りやすくするためのプロセスを検討する必要があります。</p>

2-②. 地区福祉委員会への活動助成（自治会長・民生児童委員）

事業目的	<p>地域の生活環境のなかで、個人の方ではどうしても解決できない問題を、住民一人一人が地域ぐるみで実践するための組織づくりを行います。</p>						
事業実績	配分金（円）						
		大 淀	上御糸	下御糸	斎 宮	明 星	合 計
	令和4年度	62,930	79,535	70,850	101,480	85,205	400,000
	令和3年度	61,490	76,550	70,190	102,920	88,850	400,000

2-③. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の交流（おでかけ交流会）

事業目的	明和町在住のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に日帰り旅行を行うことにより、日々の暮らしの様子や生活課題はないかなどの確認や、旅行を楽しみに生きがいを持って生活していただくことを目的としています。						
事業実績	参加人数（人）						
		大 淀	上御糸	下御糸	齋 宮	明 星	合 計
	令和4年度						
令和3年度							
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●例年鳥羽方面への日帰り旅行を実施しており、日頃遠出や買物の機会が少ない参加者に喜ばれ、地域の方との交流も楽しんでいただいていたのですが、昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。 						
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●安全かつ安心して参加していただけるよう、新型コロナウイルスやその他の感染症の推移を見守りながら実施の有無を検討する必要があります。 ●実施するにあたっては、感染予防の対策が充分に行える環境を整える必要があります。 ●70歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯を対象としていますが、その中でも自力でバスの乗降ができる等、参加条件が一部限定されるところがあります。 						

2-④. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等への歳末見舞い

事業目的	歳末の時期にあたり、多くのひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などの方々に個別訪問を行うことにより、安否確認・不安なく健康で新しい年を迎えられることを目的としています。				
事業実績	配布数（個）				
	対象者	要援助世帯	ひとり暮らし 高齢者	高齢者世帯	合 計
	令和4年度	50	608	536	1,194
令和3年度	44	574	536	1,154	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●年々、ひとり暮らし高齢者世帯は増加傾向です。また、年齢に関わらず支援が必要等の生活課題を抱えている要援助世帯も増加傾向です。 ●見舞品の配布をきっかけとした訪問活動を通じ、対象高齢者の安否確認、現況把握ができ、地域の方々と民生委員の方との信頼関係構築につながっています。 ●新型コロナウイルス感染症の影響により、他者との交流、地域の繋がりが少なくなり、ひきこもり傾向が見られる中、貴重な訪問活動の機会となっています。 				

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も対象となる世帯が増加傾向をたどると予想され、募金額の減少に伴い、他の財源確保も検討する必要があります。 ●対象者の中には事業目的に理解が得られず、調査に協力が得られないケースがあり、把握できていない対象者もあります。 ●要援助者世帯について、個人情報の問題が生じ、把握が難しいケースがあります。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2-⑤. 広報誌の発行

事業目的	住民の皆さんに、社協の様々な活動内容をご理解いただくとともに、地域福祉活動に積極的に参加するための情報を提供することを目的としています。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ●「社協だより」 年4回発行・社協の活動紹介 基本理念、事業実施計画（新規事業）、収支予算、収支決算、地域活動紹介（明和中学校ボランティア部）、子ども食堂秋祭り案内、成年後見サポートセンター公演会、献血ルームハートワン紹介、表彰（全国社会福祉協議会、三重県社会福祉協議会、明和町社会福祉協議会）、グループホームやわらぎ開所（JKA 助成金）、明和の里ミニ農園紹介、サマースクール報告、ありんこクリスマス会（イオンご寄附）、寄附金・寄附物品報告、募金活動実績報告・御礼（日本赤十字社社資、福祉の町づくり資金、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金） ●「広報めいわ」に「社協だより」コーナーを掲載 「地域の輝く人」紹介（こむすび舎・下御老老人クラブイベント）、成年後見サポートセンター設立・公演会案内、イオンパートナーシップSDGs イベント案内、近鉄明星列車区社内研修活動表彰、OBENTO PROJECT（協力お願い、お弁当容器・クリスマスケーキご寄附）、子ども食堂秋祭り案内、子ども食堂支援御礼（ランドセル募集）、生活困窮者一次相談案内、家族介護教室（介護者健康教室）、ボランティアセンターだより「てとてを」（上野おしゃべり女子会、淀の会）、ひとり暮らし高齢者等実態調査、えんがわ教室参加者募集、日赤災害救護用自動車配備

2-⑥. 社協ふれあい祭りの実施

事業目的	日頃、ボランティアなどに従事している各福祉団体や、ボランティア団体、社会福祉施設に参画いただき協同の輪をひろげるとともに、福祉に関わる機会の少ない地域の皆さんに、楽しみながら福祉を身近に感じていただける機会をつくります。地域の皆さんと交流し、社協が実施している事業や、ボランティア活動、募金運動など、地域の皆さんにひろく福祉について関心を持っていただく事を目的としています。
令和4年度 事業実績	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
令和3年度 事業実績	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

<p>令和2年度 事業実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
<p>令和元年度 事業実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会長表彰並びに感謝状授与式 ・ステージ発表【明和中学校(吹奏楽部)、ゆたか保育園盆踊り、ぱる♪、FreeZ NOTE、輝風、ありんこ、業平夢太鼓、北野友楽クラブ、フィナーレ(みんなでうらじゃ音頭)】 ・子ども食堂支援募金活動(明和中学校ボランティア部) ・自立相談支援事業啓発(三重県生活相談支援センター) ・UMOOUプロジェクト啓発 ・福祉スタンプラリー【手話体験、点字体験、パラスポーツ体験(車椅子バスケット、フライングディスク)】 ・ふるまい【ながしそうめん】 ・缶ぽっくり作りコーナー ・縁日コーナー【輪投げ、魚釣りゲーム、ストラックアウト、おじゃみ投げ、ゲーゴル、玩具金魚すくい】 ・ちびっこ子ども広場【遊び場、イラストコーナー、鉄道模型操作体験、保護者向けハンドマッサージ】 ・ウォーリーを探せ(イベント回りゲーム) ・夜店【ドリンク、ポップコーン(わだち)・綿菓子(FreeZ NOTE)・焼きそば(エヌイベントジャパン株式会社)】*()内、協力団体 ・バルーンアート ・菓子まき ・café茶々(ありんこ)販売【カレーライス、かき氷、唐揚げ、サーターアンダギー、フランクフルト】 ・販売【母子寡婦福祉会、南勢就労支援センター、第二南勢就労支援センター、さいさいど、あざふるさと、ベージュファンズ、ぎゅーとら、ありんこ】
<p>事業評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされました。 ●平成30年度より開催時期を夏にし、夕方から夜にかけて開催することに定着しつつあり、また年々多くの協力団体や企業、学校からもボランティアや参加にご協力いただいております。 ●地域の皆さんにも、社協「ふれあい祭り」として毎年交流を楽しんでいただき、日頃福祉に触れる機会の住民の皆さんへの啓発の場としていましたが、啓発の機会が減ってしまいました。 ●ステージ発表を通して、多くの団体の日頃の活動の成果を披露する場としていただいていたのですが、成果発表の場が失われてしまいました。 ●多くの団体や企業、学生のボランティア体験や福祉体験の場として活用していただいていたのですが、ボランティア体験や福祉体験の機会が減ってしまいました。

	<ul style="list-style-type: none"> ●社協「ふれあい祭り」の中で功労者表彰を実施する事で、多くの地域住民の方に直接ご紹介する機会としておりましたが、紹介する機会が失われてしまいました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけも変更となる見込みとなっている事からも、感染対策を取りつつ、どの様な形で開催できるか、具体的検討が必要です。 ●3年続けての開催見合わせとなりましたが、明和町老人クラブ連合会やボランティア団体「みんなの食堂こむすび舎@めいわ町」、明和町グランドゴルフ協会等、様々な地域団体より参加表明の申し出を頂戴しており、様々な世代、団体等との関係性を維持発展させるべく、今年度の開催に向けて検討をしていく必要があります。

2-⑦. 明和町社会福祉協議会会長表彰

事業目的	地域福祉の推進に多年活動を続け、その功績があった方、その他広く福祉の増進に功労のあった方に対し、会長がこれを表彰し、また感謝の意を表し、その功績を讃えるとともにあわせて地域福祉活動の発展に寄与することを目的としています。		
事業実績	令和4年度	会長表彰・感謝 ボランティア活動功労者	1団体
	令和3年度	会長表彰・感謝 地域福祉功労者 ボランティア活動功労者 地域福祉活動寄付功労者	1名 1団体・1名 2社

3. 各種運動の推進・寄附金

明和町	令和4年度	96
自治会数	令和3年度	96

3-①. 日本赤十字社募金運動（1世帯 500円程度）

区 分		一般社資 (自治会数)	合 計
募金額 (円)	令和4年度	1,178,481 (70)	1,178,481
	令和3年度	1,258,717 (71)	1,258,717

3-②. 社協会員増強月間（一般 300円 特別 1,000円程度）

区 分		一般賛助会員(自治会数)	特別賛助会員 (件数)	合 計
募金額 (円)	令和4年度	790,902 (70)	0 (0)	790,902
	令和3年度	889,411 (72)	0 (0)	889,411

3-③. 赤い羽根共同募金運動（1世帯 500円 法人 3,000円程度）

区 分		一般募金 (自治会数)	法人募金 (法人数)	職域募金	イベント募 金・街頭募 金・募金付自 販機 他	羽毛 回収	合 計
募金額 (円)	令和4年度	1,076,050 (67)	313,020 (113)	36,573	135,574	45,960	1,607,177
	令和3年度	1,135,000 (64)	321,740 (117)	53,201	147,868	39,480	1,697,289

- ・職域募金（明和町役場・明和消防署・明和町社会福祉協議会・斎宮歴史博物館・埋蔵文化センター
明和中学校教員）
- ・イベント募金・募金付自販機・街頭募金（スーパーサンシ明和店・ぎゅーとら明和店・イオンモール
（株）イオンモール明和店）

3-④. 歳末たすけあい運動（1世帯 200円 法人 1,000円程度）

区 分		一般募金(自治会数)	法人募金 (法人数)	その他 (個人・職域)	合 計
募金額 (円)	令和4年度	683,060 (70)	117,000 (112)	3,200	803,260
	令和3年度	713,990 (74)	123,000 (111)	10,815	847,805

3-⑤. 寄附金

区 分		件数 (件)	金額 (円)・物品名
寄附金	令和4年度	37	450,849
	令和3年度	85	1,113,472
寄附物品	令和4年度	111	新米 60 kg、60 kg、白米 194 kg、玄米 1,650 kg、もち米 10 kg、ポータブルトイレ 2台(新品)、ガス炊飯器 1台、コーヒーメーカー 1台、大根 241本、じゃが芋 7ケース、南瓜 32個、さつまいも 5ケース、ほうれん草 7ケース、人参、玉ねぎ、ピーマン、キャベツ、レタス、白菜、甘夏 40個、みかん 10 kg、メロン 30個、菓子パン 60個、クリスマス用菓子 28個 他
	令和3年度	130	新米 60 kg、30 kg、白米 248.5 kg、玄米 1,245 kg、もち米 30 kg、無洗米 20 kg、シルバーカー 1台、パンジー苗 400株・アラセイトウ苗 80株、お手玉 30個、尿取りパッド、さつまいも 3箱、メロン 15個、春キャベツ、じゃがいも、カボチャ、小松菜、新玉葱、サニーレタス、ブロッコリー、大根菜、人参 他

4. 福祉用具等の貸出に関する事業

4-①. 福祉機器等の貸出 (ベッド・車いす)

事業目的	日常生活に支障をきたしている方に対して、福祉用具を貸出することにより、在宅介護の支援を行います。			
事業実績	種 別	保有数 (台) (貸付数:3月末)	延べ申請数 (台)	
	車 椅子	12 (1)	令和4年度	23
			令和3年度	34
	ベ ッ ド	3 (1)	令和4年度	3
令和3年度			4	

4-②. バザー用具等の貸出

事業目的	野外活動や町内各種イベント及び祭りを開催する団体・グループ・自治会などに貸出をし、その収益を福祉のまちづくり資金や各種募金活動の資金にすることを目的としています。		
事業実績		貸出件数 (件)	
	令和4年度	焼き鳥器・・・0 焼きそば機・・・0 ポップコーン機・・・2	テント・・・0 かき氷機・・・4 わたがし機・・・1 たこ焼き機・・・0
	令和3年度	焼き鳥器・・・0 焼きそば機・・・0 ポップコーン機・・・1	テント・・・0 かき氷機・・・0 わたがし機・・・2 たこ焼き機・・・0

4-③. 祭壇の貸出事業 (祭壇・天幕・鯨幕)

事業目的	町民の便宜を図り、併せて生活改善の啓発に役立てることを目的としています。		
事業実績	保有数 (台) (貸付数: 3月末)	延べ申請数 (台)	
	2 (なし)	令和4年度	0
		令和3年度	0

4-④. 地域コミュニティー備品貸出事業

事業目的	住民で組織する団体等が行う地域社会活動を支援し、地域コミュニティーの活性化と自主的な社会貢献活動を促進するため、地域コミュニティー備品を貸出します。		
事業実績		貸出件数 (件)	
	令和4年度	公式わなげセット・・・2 ケンコーボッチャセット・・・0	ディスクゲッター9・・・0 安全ソフトダーツ・・・0
	令和3年度	公式わなげセット・・・1 ケンコーボッチャセット・・・1	ディスクゲッター9・・・0 安全ソフトダーツ・・・1

事業評価	●今年度は自治会のイベントは開催が難しく活用されませんでした。交流会等で活用されました。
今後の課題	●サロンへの訪問時に障がい者も共に楽しめる「ボッチャ」などの競技を実際に紹介・体験してもらい、競技への興味を持ってもらう働きかけが必要です。 ●明和町サロン支援事業や自治会のイベントでのニーズを反映して、貸出物品メニューの再検討をする必要があります。

5. 地域支え合い体制づくり事業

5-①. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等の実態調査事業

事業目的	民生委員・児童委員と協働し、訪問、声かけ、安否確認などの活動を通じて、担当区域内の住民の実態やあらゆる福祉ニーズを日常的に把握します。また地域の行事や会合などにも参加し、情報収集に努めます。				
事業実績		要援助世帯 (世帯)	ひとり暮らし 高齢者(名)	高齢者世帯 (世帯)	合計
	令和4年度	51	608	543	1,202
	令和3年度	44	575	545	1,164
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●配偶者の施設入所や死亡により、ひとり暮らし高齢者が増加しており、今後も増加すると予想されます。 ●要援助世帯(寝たきり高齢者・認知症高齢者・ひきこもりその他援助が必要と思われる世帯)においても昨年度より世帯数の増加がみられ、今後も増加傾向をたどると予想されます。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる世帯は全体的に増加傾向をたどると予想されます。 ●対象者の中には事業目的に理解が得られず、調査に協力が得られない方があり、状況を把握出来ていない対象者もあります。 ●要援助者世帯についても個人情報保護の問題以外にも、プライバシーに配慮した調査を実施する必要があると予想されます。 				

5-②. 明和町サロン支援事業

事業目的	高齢者の外出を促し、集える拠点として公民館を整備し、ボランティアを中心としたサロン活動を行うことで介護予防につなげるとともに、世代を超えた地域住民同士の支え合いの体制を構築することを目的とした事業の活動支援を行います。			
事業実績		開催回数	活動時間	活動内容
	令和4年度 (53会場)	月10回以上:3 週2回:3 週1回:5 月2回:4 月1回:17 その他不定期(詳細不明も併せ):21	2時間:24 3時間:3 4時間:2 5時間:2 6時間:1 その他(詳細不明も併せ):21	カラオケ、ゴーゴー体操、ラジオ体操、グランドゴルフ、クロリティー、ペタンク、輪投げ、ハイキング、脳トレ、講話、食事会、茶話会、お花見、料理、忘年会、新年会、子供会への協力、自治会行事への協力、公園掃除、墓地掃除、神社境内手入れ、踊り、囲碁、将棋、麻雀、俳句、手芸、太極拳、お菓子づくり、健康ひろ

				ば、ゴキブリ団子作り、大正琴、マジックの鑑賞、吹き矢、農作業等々
	令和3年度 (58会場)	月10回以上: 3 週2回: 1 週1回: 6 月2回: 11 月1回: 23 その他不定期 : 14	2時間: 18 3時間: 11 4時間: 4 5時間: 3 6時間: 4 その他: 18	カラオケ、ゴーゴー体操、ラジオ体操、グランドゴルフ、クロリティー、ペタンク、輪投げ、ハイキング、脳トレ、講話、食事会、茶話会、お花見、料理、忘年会、新年会、子供会への協力、自治会行事への協力、公園掃除、墓地掃除、神社境内手入れ、踊り、囲碁、将棋、麻雀、俳句、手芸、太極拳、お菓子づくり、地域の歴史を学ぶ、町内バスによる町内観光、健康ひろば、ゴキブリ団子作り、大正琴、マジックの鑑賞、農作業等々
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●生活支援コーディネーターやボランティアコーディネーターが、地区民生委員をはじめとする皆さんにひろく情報収集を行う中で、自主的に集いサロン活動を継続的に実施している所が新規で1つ把握され、また、それぞれのサロン活動の内容に関するご相談等を継続的に受けながら支援を展開する事ができました。 ●目的をもって自主的に活動を展開しているサロン活動は、コロナ禍にあっても様々な工夫をしながら早期に活動を再開するなど、サロン活動の活発化を支援する上で明るい材料も発見されています。 ●各サロンを訪問し、関係性を構築していく中で、助言を求められたり今後の活動展開に関してご相談をいただいたりするなど、それぞれのサロンが継続かつ活発化していく為の支援が出来ています。 ●下記の課題に即して、子ども支援団体と単位老人クラブの協働イベント支援を積極的に実施し、多世代交流の機会を創出する事が出来ました。 ●生活支援体制整備事業と連動し、上記効果をさらに地域に派生させることを狙いとし、多くのサロン団体等と共にひなまつりイベントを開催し、300名を超える多世代の参加者と世代間交流を図る事ができました。 			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●代表者や役員のみには負担が偏りがちなサロンが多いため、参加者全員で役割分担をしたり、地域のボランティアの力を借りたりして、安定したサロン運営ができるように支援をしていく必要性を感じています。 ●昨年度に引き続き、多くのサロン活動がコロナウイルス感染拡大に伴い自粛となり、部分的に活動再開に向けた支援（感染拡大防止対策等）は実施できたものの、特に老 			

	<p>人会を母体としたサロン活動はその多くが休止したままとなっており、効果的な支援が実施できていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昨年度に引き続き、後継者不足や役員の負担等で継続が危ぶまれるサロンが多数存在しており、上記事業評価の通り、活動の継承という点も鑑み、今後より一層の世代間交流をコーディネートする必要があります。 ●引き続き、趣味や関心を持った方々が自治会等の枠を超えて集える「つどいの場」として開催されるサロンの訪問を継続し、情報提供やコーディネート等、必要に応じた支援に努める必要があります。
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5-③. 介護支援ボランティア活動推進事業

(高齢者有償ボランティア活動ポイント支援事業)

事業目的	<p>元気な高齢者が特別養護老人ホーム等でボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進や介護予防につなげること、社会参加、地域貢献を通じた生きがいを促すことを目的としています。</p> <p>受入施設にとっては、ボランティアが訪れることで地域とのつながりが深まるとともに、入所者を心豊かにするという目的があります。</p>			
事業実績		登録数	ポイント 転換交付数	活動事業数
	令和4年度	93名	1,150P	17事業
	令和3年度	96名	940P	16事業
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●本会の介護事業所は、6月から少人数のボランティアを受け入れ又、昨年同様一般介護予防事業（筋力脳力あつぷ教室・えんがわ教室）でも、ボランティア活動受け入れを継続的に実施し、コロナ禍にあってもボランティアの活動の場を提供できました。 ●新型コロナウイルス感染症の影響が長引いており、70代後半から80代の会員が6名退会しました。しかし新規事業が増え、その事業で活動するボランティアが新規会員として2名登録、その他に1名の合計3名が新規ボランティアとして登録しました。 			
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年と同様にボランティアポイントの活動場所が主に老人福祉施設等に限定されている為、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、受け入れ事業が減少し、活動の場を無くしているボランティアが多くいます。 ●新規事業が増えることで活動会員数も増える事から、新たにこの制度にご登録頂く事業を開拓していく必要があります。 ●令和5年5月から新型コロナウイルスが感染症法上の位置付けが5類に引き下げられることを受けて、今までボランティアの受け入れをしていなかった事業に対して、ボランティア受け入れについて改めて丁寧なマッチング支援が必要と感じます。 			

5-④. めいわサポーター【めいサポ】活動推進事業

事業目的	年齢などに関係なく、地域に住んでいるみなさんがお互いに支え合いながら自分らしく活躍できるように、地域の人々との交流・関係づくりをすすめ、福祉事業など公的サービスと助け合いながら暮らすことのできる仕組みをつくることを目的としています。			
事業実績		活動者登録数	利用者登録数	ポイント 転換交付数
	令和4年度	26名	25名	3,950P
	地域依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ処理 1件 ・エアコン調整とフィルター掃除 1件 ・庭木伐採草刈り 1件・木の伐採 2件 ・庭木の剪定1件 ・草刈り 1件 ・草取り 9件 ・水道蛇口修繕 1件 ・センサー電灯取付 1件 ・家庭ごみ処理 2件 (可燃ごみ1回/週) (可燃ごみ2回/週・金属缶、瓶2回/月) ・蜘蛛の巣取り 1件 ・窓掃除 1件 		
	社協事業	OBENTO PROJECT 749件 配食サービス 915件		
		活動者登録数	利用者登録数	ポイント 転換交付数
	令和3年度	26名	20名	2,560P
地域依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ処理 3件 ・家財整理(処理)1件(3回) ・ドアノブ修繕 2件 ・庭木剪定 2件 ・草刈り 5件 ・草取り 5件 ・冷蔵庫搬入 1件 ・家庭ごみ処理 2件 (可燃ごみ1回/週) (可燃ごみ2回/週・金属缶、瓶2回/月) ・蜘蛛の巣取り 1件 ・ホース交換 1件 			
社協事業	OBENTO PROJECT 29件 配食サービス 995件			
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●草刈り、草取り、ゴミ出しは、定期的なニーズがあります。 ●ケアマネージャー、ありんこ利用者、社協内の他の事業からの紹介で、新規利用者が6名増えました。(1名死亡の為利用停止となっています。) ●窓掃除、クモ取り、家電についてなど些細な困りごとの解決をサポートが担っています。 ●草取り等は、草の状態、天候等で作業が長時間になる事があります。 			

事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活自立支援、生活困窮者の対象者の方がお米を精米する為に、チケット10枚綴りを購入頂く事が困難で、サービスが利用できないという課題が多くありました。 ●現在、サポーターが活動する場合、安全と見守りの為職員が1名一緒に活動していますが、今後ニーズが増えた場合、対応が難しくなってきます。また本来はサポーターのみでの活動が出来るような仕組み作りが必要ですが、草取りを担ってくれる会員がなかなか増えないことが課題です。 ●作業によっては、ボランティアとしてある一定程の線引き、例えば、活動時間で区切るなどが必要です。活動者、利用者共にボランティアの域を超える活動になりつつあります。 ●引き続き、利用者には気軽にちょっとしたことが依頼できる事を広報し、活動者はその利用者の近い方から探していく事も継続していきます。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5-⑤. 配食サービス事業

事業目的	高齢者の居宅に配食を行うことにより、食生活の改善、健康維持及び配達時の見守りにより孤独感の解消を図るとともに、自立した在宅生活を支援することを目的としています。	
事業実績	令和4年度	83
	令和3年度	88
	延べ利用人数(人)	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●通常、祝日の配食サービスは実施しておりませんが、4年度も5月のGWについてはサービスを実施しました。利用者様の栄養状態の維持、御弁当を配達する事で安否確認もできました。利用者様にも「よかった」と喜びの声もいただきました。 	
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●1日に配食できる数量に制限があり、新規で多くのご利用をお受けすることができませんが、現状の配食数を維持しながら事業継続に努めていきます。 	

5-⑥. 生活支援サポーター養成事業

(高齢者有償ボランティア活動者・めいわサポーター【めいサポ】担い手養成事業)

事業目的	地域住民の生活ニーズに応える仕組みを安定的・継続的に構築するため、住民の主体性に基づき運営される新たな住民参加サービス等の担い手として生活支援サポーターを養成し、活躍される方を支援します。
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度に引き続き、今年度も講座が開催できませんでした。
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●家のちょっとした修繕や、掃除等の企画を開催し、その中から協力者を発掘していくなどの仕掛けが必要です。 ●ニーズが出た地域について個別に働きかけをしていくなど、講座ではない方法も必要と考えます。

	●地域で助け合い、支え合いの活動をしている団体同士の交流会などを開催し、助け合いの地域の団体を活性化していきます。
--	-----------------------------------------------------------

5-⑦. 災害ボランティアの育成

事業目的	災害時、まず自分の周りの方を助けたり、避難所で活躍したりしていただけるボランティアを養成します。普段から防災・災害に対する意識を住民の皆様にも持っていただけることを目的としています。		
事業実績		参加人数	
	令和4年度	災害ボランティア養成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画されませんでした。	
	令和3年度	災害ボランティア養成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。	
事業評価	●昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も講座が開催できませんでした。		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●行政・自主防災組織との連携について、コロナ禍以前の関係性構築に努める必要があります。 ●養成講座という内容以外での、行政・自主防災組織・防災ボランティア・福祉施設・福祉事業所や社協が連携を語り、災害に備えるという新たな取り組みが必要と考えます。 ●若年層にも、災害について共に考えてもらう機会をつくる必要があります。 		

5-⑧. 明和学びの里運営事業

事業目的	中学生に学習の場を提供するための夜間の自習塾として「明和学びの里」を開設し、地域の方々や大学生等の協力による自習補助を行うこと、生徒と地域の方々とのつながりの場を設けること、地域の方々に生徒及び中学校の応援団として関わっていただき、成長を見守っていただくことを目的としています。			
事業実績		開催日数 (日)	参加人数	
			中学生	学生サポーター 地域サポーター
	令和4年度	38	1529	472
	令和3年度	25	738	279
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染対策による中止は今年度なく、開参加者の人数も増加しました。 ●自主学习だけでなく、ALT参加によるハロウィン、クリスマス、ヨガ、英会話など生の英語に触れてもらえる機会を作りました。 ●学年割でのクラスだけでなく、目的別（勉強重視型、交流目的型）のクラス分けも試行し、居場所づくりとしての目的も果たしました。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ●入試のための作文添削や面接指導にも取り組み受験対策にも取り組みました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●居場所づくりとしての機能を果たす一方、生徒の学習態度や学習意欲の向上、サポーターと生徒とのかかわり方について理解・意識を深めていく必要があります。 ●参加したくても交通手段がなく来ることができない生徒のフォローをどうしていくのかを検討する必要があります。 ●学びの場と居場所づくりの目的を効果的なクラス分けについて、今後更に検証をしていく必要があります。

5-⑨. 支援対象児童等見守り強化事業

事業目的	要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子どもの居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供等を通じた子どもの見守り体制を強化することを目的とします。						
事業実績	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
		140回	129回	167回	142回	124回	176回
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
		159回	162回	165回	150回	123回	163回
		合計 1,800回					
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●週1回を基本とする食事提供を通して、細やかな子どもの見守りを実施する事ができました。 ●関係機関からの依頼も増え、ニーズに即した見守り体制が構築されております。 ●子どもやご家族からの不安ごとや悩みをキャッチし、そのお話を聴く事で不安やストレスを軽減することができました。 ●関係支援機関とも協力体制が構築され、子どもやご家族からの相談に対して、迅速な支援がなされる様になり、子どもやご家族の不安の軽減につなげることができました。 						
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●支援を必要とする子どもやご家族は少なからず存在すると考えられ、この事業の周知をひろげていく必要があります。 ●困っている子どもやご家族を支援する上での支援メニューが不足しており、さらに効果的な支援を創出する必要があります。 ●子どもやご家族には、それぞれの悩みや生活上の困難が存在しており、長期にわたり、継続的な見守りが実施できる体制づくりが必要です。 						

5-⑩. OBENTO PROJECT 事業

事業目的	<p>支援対象児童等見守り強化事業に登録されている子ども以外の家族や、その他経済的に困窮または、苦しい家計状況である家庭を支援するため、地元企業や地域住民の皆様が子どもたちを寄附金や寄附食材などで支えたいという気持ちと、地元企業や地域住民の皆様が「仕事」の提供を通じて支えられた「ありんこ」が今度は自分たちが「仕事」で地域貢献したいという気持ち、「地域交流の拠点」として地元で頑張っている「みんなの食堂こむすび舎@めいわ町」の皆様が困っている子ども家庭に手作りのお弁当を届ける活動で支えたいという気持ちが新たな出会い、この活動が生まれました。</p>						
事業実績	弁当無償提供数						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	321食	294食	372食	325食	281食	379食	343食
	11月	12月	1月	2月	3月	提供食数合計	
350食	356食	322食	268食	363食	3,974食		
事業実績	地域からの OBENTO PROJECT 事業に対するご寄附						
	令和4年度 寄附金合計	228,877円					
	令和4年度 寄附食材等	<p>筍、ほうれん草、大根、きゅうり、トマト、ミニトマト、甘夏、キャベツ、春キャベツ、えんどう豆、お菓子、ホームランメロン、プリンスメロン、にんにくの芽、玉ねぎ、ズッキーニ、ジャガイモ、人参、菓子パン、ヤングコーン、かぼちゃ、栗えびすかぼちゃ、オクラ、ピーマン、バターナッツ、白なす、長なす、なす、乾燥めん、手焼きせんべい、大根、大根葉、みかん、冬瓜、缶詰、シイタケ、さつまいも、柿、ま菜、ブロッコリー、白菜、レタス、フードパック（弁当容器）、ねぎ、チンゲン菜、砂糖、ケーキ、里芋、かぶ、 玄米・白米・もち米 計2,014kg</p>					
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の皆様、支援機関、支援団体、多くの企業の皆様の「支え合い」の気持ちを食の支援という形で、生活にお困りの18歳未満の子どもがいる家庭にお届けする支援活動が継続的に実施できました。 ●活動を通して、あらゆる皆様からのご支援を頂戴し、この事業を通して、目的の通り「支え合う関係づくり」に寄与されました。 ●この事業への協力を通して、他の福祉事業にも協力・賛同をいただける地域住民の皆様や関係機関・関係団体・企業が増え、一層の福祉活動推進が図られる様になりました。 ●事業に参画いただけるボランティアも増え、福祉活動を支える人材の活躍の機会にもなっていると考えられます。 						

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●地域にはまだまだ経済的に困りの子育て家庭が多く存在していることが推察され、この事業の情報を必要な家庭への確に広報できることが重要であると考えられます。 ●寄附金額としては昨年度を下回りましたが、継続的に多くの皆様より寄附を頂戴しており、今後も広報活動等を行うことで、発展的に事業展開がされる様に努める必要があります。 ●運営面においては、寄附金及び寄附食材に頼っている面が多く、継続的かつ発展的に事業運営を行うためにも、安定した財源を確保する事が重要となってきます。またこの事業に直接的に関わっていただけるボランティアの裾野をひろげていく必要があります。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 介護者支援に関する事業

6-①. 家族介護者支援対策事業（低所得者紙おむつ券給付事業）

6-②. 寝たきり高齢者等紙おむつ券給付

6-③. 重度障がい者日常生活用品（紙おむつ券）給付

事業目的	在宅で生活している高齢者や障がい者で、常時紙おむつを必要とされている方の経済負担を軽減することを目的としています。				
事業実績	延べ配布枚数(枚)		家族介護者支援対策事業 (5,000円)	寝たきり高齢者等紙おむつ券 (3,000円)	重度障がい者日常生活用品 (3,000円)
	令和4年度		182	46	168
	令和3年度		172	66	160

6-④. 家族介護教室

事業目的	家族介護教室の参加者に対して、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等について知識、技術を取得できるようにします。
事業実績	<p>第1回：7月7日（木）</p> <p>テーマ 「お口は元気の源！安心安全な口腔ケア」（講演）90分</p> <p>講師 三重県歯科衛生士会松阪支部 歯科衛生士 尾上 美和氏</p> <p>参加者 35名</p> <p>第2回：9月9日（金）</p> <p>テーマ 「認知症の理解とケア」（講演）60分</p> <p>講師 三重県立こころの医療センター 看護師 山本 孝子氏</p> <p>テーマ 「地域包括支援センターの役割」（講演）30分</p> <p>講師 明和町地域包括支援センター 保健師 中瀬 春香氏</p> <p>参加者 34名</p>

	<p>第3回：11月10日（木）</p> <p>テーマ 「ピンシャン 元気で 長生きを!!」（講演）90分</p> <p>講師 エッセイスト 谷口 照男氏</p> <p>参加者 36名</p>
<p>事業評価</p>	<p>第1回：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広報めいわへの掲載と介護予防教室利用者やボランティアグループ、老人クラブ等に直接声かけする事で、例年程の参加者数となりました。 ●口腔ケアや口腔が全身の健康につながる事を学んでいただく良い機会となりました。 ●歯科衛生士のアンケート結果から、参加者は定期的に歯科受診をしている方が多かったです。また質問事項の記入も多かったことから、口腔ケアの取り組みについて重要である事を理解していただいたように思います。 ●自宅でも継続し習慣化する為には、機会があるごとに口腔ケアの重要性を伝えていく必要があると思います。 <p>第2回：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●認知症に関しては、皆様とても関心のあるテーマとなっており、認知症の症状や対応をしっかりと学んでいただきました。 ●内容が盛りだくさんだった為、次回の計画ではポイントを絞った内容も良いかもしれないと感じました。 ●アンケート結果より、介護や生活の悩みを相談する所がみあたらないという方が多いため、包括支援センターの役割を紹介できた事は良かったと思います。 <p>第3回：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ピンシャン 元気で 長生きを!!」の介護予防に関するテーマは、新しい参加者の申込がありました。興味関心をひく講演会の開催により、介護をしている方や介護予防に感心ある方への呼びかけが必要だと思います。 ●コロナ禍で、外出の機会やおしゃべりが少なくなりましたが、ユーモアを交えた内容で、楽しく健康寿命を延ばすための講演が役立ったと思います。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●参加者が固定化している部分があり、必要とする方をどのように探していくかが課題です。教室参加者の幅をひろげていく事が必要です。 ●介護をされている方は、ケアマネージャー等から必要な情報を得る事ができるので、これから介護に携わる方や介護予防を行っていく方々に必要な情報を提供できればと思います。

7. 暮らしの相談・支援事業

7-①. 福祉なんでも相談（社協の総合相談）

事業目的	地域住民が、社会とのつながりを持ちながら、「住みなれた地域で楽しくおだやかに暮らしたい」という気持ちを大切に地域での自立した生活を支援します。					
令和4年度 事業実績	相談方法	電話	来所	訪問	その他	合計（件）
		9	7	0	0	16
	相談者	一般住民	民生委員 自治会長	ボランティ ア関係	行政	合計（件）
		8	4	3	1	16
		福祉施設職員	団体関係	その他	教室利用者	
		0	0	0	0	
	相談内容 (重複あり)	地域生活	生活のご不安ごと相談（2） 家族・親族に関する相談（2） 相談窓口の問い合わせ（2）			
		団体活動	老人会について（1）			
		福祉サービス 利用	介護保険制度についての相談（4） 福祉用具貸出についての相談（2）			
		社協事業利用	貸付事業について（1） 歳末助け合い募金について（1）			
生活困窮者・ 貸付支援		生活費等に関する相談（3） 食糧支援についての相談（1）				
令和3年度 事業実績	相談方法	電話	来所	訪問	その他	合計（件）
		11	7	5	1	24
	相談者	一般住民	民生委員 自治会長	ボランティ ア関係	行政	合計（件）
		12	8	0	1	24
		福祉施設 職員	団体関係	その他	教室利用者 から	
		0	1	2	0	
事業評価	●地域住民からの相談ごとを、社協職員として一人ひとりが窓口となり、福祉なんでも相談として対応したことで、さまざまな疑問や相談内容があることが改めて視覚					

	<p>化できました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関係機関を紹介するだけでなく、関係機関に直接連絡をとり同行訪問を行ったり、支援会議へ参加したりするなど、意図的・継続的な関わり方をすることができました。 ●「どこに相談したら良いかわからない」という事でご相談いただいた件数は昨年度と比較して減少となりましたが、各事業において類似の相談は数多く寄せられています。 ●いただいたご相談やお問合せ内容に応じて、継続的に相談支援を実施する事で、1回の相談では解決しない問題に対して、複合的にアプローチする事ができました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な相談内容に適切に対応できるようスキルアップを行い、相談支援事業の資質向上に努めていきます。 ●相談者は社協に何らかのかかわりのある方からの相談が多かったため、今後は積極的に地域へ出向く機会を作り、地域住民からの困りごとを直接キャッチできる仕組みづくりをしていく必要があります。 ●今後も社協職員一人ひとりが担当の枠を超えて、地域住民のあらゆる疑問や不安に対する相談窓口であるという意識をもつ必要があります。

7-②. コミュニティソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）の配置

事業目的	<p>◎あらゆる生活課題への対応 地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、地域を基盤にして解決につながる支援やその仕組み・連携の場づくりを行い、その解決や予防に向けて取り組みます。</p> <p>◎地域のつながりの再構築 民生委員や自治会と協働し、小学校区や自治会などを単位とする小地域における住民主体の福祉活動を一層強化し、地域のつながりの再構築を図り、だれも排除しない地域社会づくりをすすめます。</p>				
令和4年度 事業実績	コミュニティソーシャルワーカー				
		来所	電話	訪問	合計(回)
	地域住民	28	84	537	649
	関係機関	92	337	135	564
	生活支援コーディネーター				
		来所	電話	訪問	合計(回)
地域住民	19	29	48	65	
関係機関	10	35	14	90	

<p>事業評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一昨年度立ち上がった「OBENTO PROJECT」に多くの住民さんが参加していただき、また多くの寄附が寄せられるようになり、「支え合い」のまちづくりが促進されています。 ●この事業を通じて、これまで本会として手薄であった児童分野の支援に地域住民と共に着手する事ができ、関係機関との連携体制が構築され、アウトリーチツールと継続的支援の展開方法を確立する事ができました。 ●上記に連動し、所謂「ひきこもり」状態にある地域住民の方にも若干名支援を展開する事ができました。 ●昨年度に引き続き、イオンモール明和店においてSDGsウィークイベントにて、UMOU PROJECT啓発、フードドライブ活動等を実施し、生活困窮者支援の裾野を広げる事ができました。又、関連団体と障害者スポーツの普及、高齢者疑似体験等の福祉教育を展開し、支え合いのまちづくりに寄与する事ができました。 ●明和町サロン支援事業やめいわサポーター【めいサポ】活動推進事業と連動させ、生活課題を抱える地域住民へのアプローチがなされ、サロンや農園等と連携して課題を抱えた住民の方の生活支援が実施できました。 ●今年度の「協議体」開催に関して、支え合い活動を推進しているサロン団体・ボランティア（個人・団体）と協働して、多世代交流を目的とした大規模イベントを位置づけ実施する事ができ、世代間交流の機会創出に繋がり、高齢者やボランティアの活躍の場を作る事ができました。 ●生活支援体制整備事業と連動し、地域共通ポータルサイト「美村」の普及促進の一環で、デジタル技術を活用した共助活動の促進に向け、多機関と取り組む体制を整えました。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度課題として上がった、生活課題を抱える世帯（者）と地域資源をより広域的且つ効果的につなぐ仕組みづくりを整備する事を目的とし、上記の通り、デジタル技術を活用した共助活動の促進を図る取り組みを効果的に連動させる必要があります。 ●上記の一環で、町内の福祉事業所や企業等との連携体制をさらに強固なものとし、住民主体の福祉活動をバックアップできる仕組みづくりを進める必要があります。 ●これまで点で繋がっていた関係機関や企業・団体等と上記取り組み等を通して、効果的に連携し、「面」での繋がりを再構築していく必要があります。

7-③. 成年後見制度に関する事業

<p>事業目的</p>	<p>認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方々の権利を擁護することが、成年後見制度の目的です。</p> <p>令和4年4月に中核機関を受任し、本会では本制度の普及啓発、申立支援等の利用促進、法人後見受任体制づくり、住民の後見活動や親族後見のサポートができる体制づくりに取り組んでまいります。</p>																																												
<p>事業実績</p>	<table border="1" data-bbox="411 533 1409 629"> <tr> <th>相談者</th> <th>本人</th> <th>親族</th> <th>関係機関</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>延数</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>46</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="411 678 1409 775"> <tr> <th>方法</th> <th>電話相談</th> <th>来所相談</th> <th>訪問</th> <th>メール</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>延数</td> <td>54</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>46</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="411 824 1409 1021"> <tr> <th>内容 (重複あり)</th> <th>制度説明</th> <th>申立支援</th> <th>受任調整</th> <th>同行支援</th> <th>関係機関との連絡調整</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>延数</td> <td>25</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>18</td> <td>74</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="411 1070 1409 1406"> <thead> <tr> <th>広報・啓発</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年1月29日</td> <td> <p>演題：「田んぼの神様」</p> <p>日程：令和5年1月29日（日）午後1時30分～3時</p> <p>対象：一般住民、事業所</p> <p>内容：一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター三重県支部による演劇を通じて成年後見制度の基本を理解する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●サロンの場で成年後見制度のミニ講座を令和5年3月6日に開催しました。裁判所、地域包括支援センター、役場等へ明和町成年後見サポートセンターのパンフレット配布、広報めいわへの掲載など、周知に努めました。 ●開所当初はセンターの役割や制度についての大まかな問い合わせが大半でしたが、次第に関係機関からの相談や連携を図りながらサポートする役割も担ってきました。 ●サポートセンター開設により、地域や福祉、行政に司法を加えた多様な分野が連携するしくみ(権利擁護支援の連携ネットワーク)の基盤ができました。 	相談者	本人	親族	関係機関	その他	合計	延数	17	19	9	1	46	方法	電話相談	来所相談	訪問	メール	合計	延数	54	13	15	0	46	内容 (重複あり)	制度説明	申立支援	受任調整	同行支援	関係機関との連絡調整	その他	合計	延数	25	22	0	2	7	18	74	広報・啓発	内容	令和5年1月29日	<p>演題：「田んぼの神様」</p> <p>日程：令和5年1月29日（日）午後1時30分～3時</p> <p>対象：一般住民、事業所</p> <p>内容：一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター三重県支部による演劇を通じて成年後見制度の基本を理解する。</p>
相談者	本人	親族	関係機関	その他	合計																																								
延数	17	19	9	1	46																																								
方法	電話相談	来所相談	訪問	メール	合計																																								
延数	54	13	15	0	46																																								
内容 (重複あり)	制度説明	申立支援	受任調整	同行支援	関係機関との連絡調整	その他	合計																																						
延数	25	22	0	2	7	18	74																																						
広報・啓発	内容																																												
令和5年1月29日	<p>演題：「田んぼの神様」</p> <p>日程：令和5年1月29日（日）午後1時30分～3時</p> <p>対象：一般住民、事業所</p> <p>内容：一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター三重県支部による演劇を通じて成年後見制度の基本を理解する。</p>																																												
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度から法人後見も開始しましたが受任件数は0件でした。今後、受任をした際には円滑な運用ができるよう、職員のスキルアップを図り実践に向けての取り組みをすすめていきます。 																																												

	<ul style="list-style-type: none"> ●身寄りがないことで生活に困難を抱える人の問題が出ています。人生設計について、本人の意思の反映・尊重という観点から任意成年後見制度に対する周知・相談のしくみづくりにも取り組んでいきます。 ●中核機関としての役割が充実したものとなるよう、広報や周知、連携ネットワークの更なる強化に取り組めます。
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7-④. 日常生活自立支援事業（権利擁護）

事業目的	判断力が十分ではない高齢者や障がい者に対し、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を通じて、安心した生活を送れるよう支援することを目的としています。				
令和4年度 事業実績	対応人数：31人 支援回数：平均 36回/月				
		来所	電話	訪問	合計（回）
	利用者	71	618	224	913
	関係機関	295	678	242	1215
令和3年度 事業実績	対応人数：30人 支援回数：平均 36回/月				
		来所	電話	訪問	合計（回）
	利用者	76	646	230	952
	関係機関	334	764	274	1372
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●生活支援員11名の方々に支えられ、利用者の生活支援を行ってきました。 ●関係機関との連携を密にし、社会資源の活用も行いながら地域とのつながりを視野に入れた支援を積極的に行いました。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後、契約件数が増加することが予測されることから、担い手となる生活支援員の確保に努めます。また、研修の機会を確保し、スキルアップに努めます。 ●判断能力の低下やとりまく環境から成年後見への移行が望ましいと思われる利用者も存在します。中核機関の設立とともに連携ネットワークを活用しながら適切な時期に移行していけるよう、取り組んでいきます。 ●本事業に対する理解を住民はじめ関係機関にも周知し、役割分担の明確化を図り、利用者が様々な支援を受けながら地域での生活を続けられる支援体制づくりが求められます。 				

7-⑤. 生活困窮者自立支援事業

事業目的	専門の支援員が相談者に寄り添いながら一人ひとりの状況に合わせた支援プランの作成や、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。				
令和4年度 事業実績	家計改善支援1件				
		来所	電話	訪問	合計
	利用者	49	182	70	301
	関係機関	29	152	9	190
令和3年度 事業実績	家計改善支援1件				
		来所	電話	訪問	合計
	利用者	67	240	93	400
	関係機関	29	292	31	352
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度に引き続き一次相談窓口として広報を行い、明和町健康あゆみ課や三重県生活相談支援センター（県社協）、多気度会福祉事務所をはじめとする関係機関との連携を密にすることができました。 ●新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着きを見せ始めた事で、相談件数は減少しましたが、引き続き300件に達する相談が地域住民の皆様から寄せられ、相談窓口としての認知が進んだものと捉えています。 ●住民ボランティアや企業と共に立ち上げた「OBENTO PROJECT」及び、コープみえ様との「生活困窮者の自立支援事業の連携に関する協定」が継続され、引き続き生活困窮者に対して、必要な支援を実施する事ができました。 ●令和3年度に明和町と締結した「生活困窮者自立支援事業等の連携に関する協定」により、令和4年度に関しても地域住民等より寄せられる寄附物品を必要とする生活困窮者へ円滑に提供する事ができました。 ●町内企業等との連携体制を構築した事により、生活困窮者（ひきこもりも含め）数件を就労に結びつける事ができました。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●困窮者の中には複数の問題を抱えている家庭が多く、児童、障がい、高齢分野など多職種・他機関との連携強化、協働が今後ますます求められます。 ●当事者が孤立することなく自立へとすすめるよう、継続的な支援、地域での支えあいや見守りができる仕組みづくりをさらに進めていく必要があります。 ●所謂「ひきこもり」支援も含めて、身近な町内で支え合える体制を整えるためにも町内企業や関係団体等と連携体制を強化していく必要があります。 				

7-⑥. みえ福祉の「わ」創造事業

事業目的	<p>少子高齢化の進行や雇用形態の変化、核家族や単身世帯の増加などの家族の変容の中にあつて様々な生活課題を抱える方が多くなっています。その中で「制度の狭間」から生じる生活課題を抱える方の支援のうち、地域の課題解決に取り組むために、社会福祉法人の協働による三重県社会福祉法人地域公益活動「みえ福祉の『わ』創造事業」を実施しています。</p>		
事業実績	令和4年度	食糧支援：5世帯（10回） 緊急支援：0件	就労支援：0件
	令和3年度	食糧支援：10世帯（12回） 緊急支援：0件	就労支援：0件
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●三重県生活相談支援センター（県社協）と協働しながら、その他関係機関との連絡・調整を図り困窮者支援に取り組みました。 ●物価上昇等、社会情勢の変化が著しく1回の食糧支援にとどまらず、複数回の食糧支援を要する世帯も散見され、継続的支援における有効な支援ツールとして活用されています。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急的な支援にとどまるのではなく就労支援や家計改善支援など早い段階から積極的なかかわりを進めることで、生活の立て直しができる支援体制づくりが必要です。 ●困窮から抜け出すことができない方々を早期発見できるように、地域でのつながりづくりの強化、ネットワークの構築が求められます。 ●複合的な課題を抱えた世帯が多いため、分野や機関を超えた連携が必要です。明和町生活困窮者自立相談支援事業等において、速やかに介入できる相談支援体制づくりを今後もすすめていきます。 		

7-⑦. 生活福祉資金の貸付

事業目的	<p>資金の貸付と必要な援助や指導を行うことにより、その経済的自立や生活意欲の助成促進、在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的としています。</p>			
令和4年度 事業実績	貸付実績	種類	貸付数（件）	貸付額（円）
		コロナ特例緊急小口（20万）	3 （6件中不承認3件）	600,000
		コロナ特例総合（初回・45万）	不承認1件	0
		コロナ特例総合（初回・60万）	1	600,000
		コロナ申請件数合計	4	1,200,000
		教育支援資金 就学支度費	1	500,000

		教育支援資金 教育支援費	1	540,000
		教育支援資金合計	2	1,040,000
	相談実績 (件)	来所	電話	訪問
	利用者	39	114	5
	関係機関	8	116	0
令和3年度 事業実績	貸付実績	種類	貸付数(件)	貸付額(円)
		コロナ特例緊急小口 (15万)	1	150,000
		コロナ特例緊急小口 (17万)	1	170,000
		コロナ特例緊急小口 (20万)	11 (15件中4件不承認)	2,200,000
		コロナ特例総合 (初回・45万)	3 (4件中1件不承認)	1,350,000
		コロナ特例総合 (初回・60万)	4 (8件中4件不承認)	2,400,000
		コロナ特例総合 (再貸付・30万)	1	300,000
		コロナ特例総合 (再貸付・45万)	1	450,000
		コロナ特例総合 (再貸付・60万)	6 (7件中1件不承認)	3,600,000
		コロナ総合 (初回・54万)	不承認 1件中1件不承認	0
		コロナ申請件数合計	28	10,620,000
		教育支援資金 就学支度費	2件中1件不承認	224,000
		教育支援資金 教育支援費	2件中1件不承認	612,000
		教育支援資金合計	1	836,000
	相談実績 (件)	来所	電話	訪問
	利用者	76	189	14
関係機関	12	108	5	

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ特例貸付は令和4年9月30日で終了しましたが、依然新型コロナウイルス感染症の影響を受けてみえる世帯があります。 ●貸付相談を機に OBENTO PROJECT へつなぎ、子どもを抱える世帯へ継続時に関わることができました。 ●貸付申請だけに留まらず自立相談支援機関へのつなぎ、地域福祉金庫、食糧支援などの社会資源を活用した包括的支援に取り組みました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●本制度の利用者は単に貸付だけで解決できる方はほとんどありません。自立支援機関との連携強化が求められていることから、貸付から償還が終了するまで、孤立することのない継続的支援、経済状況の早期立て直しにきめ細やかに取り組む必要があります。 ●生活相談窓口としての広報・啓発、アウトリーチによるニーズの発掘も取り組んでいく必要があります。

7-⑧. 地域福祉金庫の貸付

事業目的	生活困窮者が生活を営む中で、不時の出費を必要とする場合に貸し付けることにより、円滑な社会生活をおくれるように支援します。					
事業実績		前年度 未償還額 (円)	貸付数 (件)	貸付額 (円)	償還額 (円)	未償還額 (円)
	令和4年度	451,500	40	950,983	910,024	492,459
	令和3年度	445,993	35	878,000	872,493	451,500
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●貸付だけで終わらせるのではなく、関係機関と連携して継続的な自立に向けた支援に取り組んでいます。 ●新型コロナウイルス感染拡大に伴い、生活基盤の不安定な方や特例貸付の支給決定までのつなぎ生活費としての貸付件数が増加しています。 ●生活困窮者自立相談支援事業の一時窓口開設に伴い、生活に困窮している地域住民からの相談が増大した事に伴い、貸付件数も増加しています。 ●緊急的に生活費を必要とする相談者にスピーディーに対応する事で、窮地を支援することにも繋がっています。 					
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染拡大という社会情勢の変化に伴い、短期的にも長期的にも生活基盤の安定化が見通せない借受人が多数存在し、計画的な償還が難しい状況が生まれています。 ●償還に伴う生活相談等も業務量の増加に伴い、きめ細やかな相談支援の展開が難しい状況が起こっています。 ●中には償還期日が守られず、連絡もなかなか取れない借受人も散見され、償還業務量が増大化し、解決策を検討する必要があります。 					

	<ul style="list-style-type: none"> ●1回の貸付では改善が見られず、償還完了と同時に再度の貸付を申請されるケースが散見され、課題解決に向けて長期にわたり支援を必要とするケースが存在しています。
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8. 福祉教育に関する事業

8-①. UMOUプロジェクト

事業目的	<p>使用しなくなった羽毛製品を、貴重な資源として再生させるため、地域の人々が小学校の資源回収時などに寄附し、小学生と「ありんこ」利用者が協力して回収作業を行うことで、地域住民も、小学生も、「ありんこ」利用者も、同じ地域で暮らす住民として、つながりを感じてもらえる一つの場となればという想いを抱いています。また、回収された羽毛製品をエコランドが買取り、募金として赤い羽根共同募金へ募金、その募金は小学校へ配分し子供たちが自分たちの福祉活動に使っていただくことでさらなる福祉教育の充実になります。</p> <p>さらに、羽毛製品の解体を「ありんこ」利用者が行うことにより、障がい者の就労支援にもつながっています。</p>							
事業実績		小学校分			地域分			合計 (枚)
		1 kg 以上	1 kg 未満	ダウンジ ャケット	1 kg 以上	1 kg 未満	ダウンジ ャケット	
	令和 4年度 (イオン分)	30	10	25	49 (13)	12 (3)	33 (12)	159
令和 3年度 (イオン分)	30	7	22	59 (18)	19 (3)	42 (26)	179	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、小学校での活動回数が減った為、小学校での回収は昨年度並みでした。 ●昨年に引き続き、イオンモール明和店でのSDGsウィーク時に羽毛回収を開催し、定期的に羽毛回収BOXを店舗に設置できた事により、羽毛回収の募金額は昨年度程度は維持できました。 ●イオンモール明和店での回収を実施したことで、普段の回収場所等について、町民の方からの問い合わせが増えました。 							
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●各小学校の羽毛回収は、小学校により回収枚数の差が大きくなり、各校のPTAへの広報活動を継続していく必要があります。 ●小学校の羽毛回収時の小学生と「ありんこ」利用者との交流の機会はあまり出ていない為、別の場で交流の機会をつくっていく必要があります。 							

8-②. 福祉協力校（各小中学校への福祉活動補助）

<p>事業目的</p>	<p>小・中学校の児童・生徒に地域住民との交流など、福祉体験活動や、ボランティア活動を進めることで、さまざまな人々と自然に交流できる態度や、地域福祉への関心を育むことを目的としています。</p>
<p>事業実績</p>	<p>大淀小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明和町社会福祉協議会の福祉出前授業にて4年生が車椅子、アイマスク、白杖、点字体験を実施 ・地域の高齢者施設への訪問、交流活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大状況により社会福祉施設等への訪問活動を自粛 ・「花いっぱい運動」プランターへの花植えを実施、児童がその花を育て感謝と歓迎の気持ちを込めて入学式・卒業式の式場に飾る ・浜辺の集会にて全校児童が浜辺のごみ拾いを実施（感染症対策として3学年ずつに分散）、縦割り班にて砂の造形活動にて親睦を深める ・「見守り隊に感謝の気持ちを伝える会」を開催、日頃下校時の見守り活動を行っている老人会のメンバーを招き感謝を伝え花を贈る ・学校だより、学年だよりでの広報活動（浜辺の集会ボランティア、見守り隊に感謝の気持ちを伝える会、6年生奉仕作業、パンジー、チューリップの栽培） ・学習発表会に地域の高齢者を招待する計画だったが、新型コロナウイルス感染拡大状況により自粛 ・学校敷地内の除草作業を実施 <p>上御糸小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年・学校通信で活動紹介 ・4年生が特別支援学校に在籍する児童との交流学習を実施、交流の様子を模造紙にまとめ他学年児童や来校者が見れるよう廊下に掲示 ・地域の高齢者の方々から昔の遊びを教わることを通じて楽しく交流 ・環境委員によるリサイクル活動 ・5年生が新入学予定児童へのプレゼント作成、贈呈、学校探検を実施 ・明和町社会福祉協議会の福祉出前授業にて町内在住の視覚障がい、身体障がいの方と交流しながら車椅子体験、アイマスク、白杖体験を実施 ・環境美化活動（花を育て、自然を大切に作る心を育む） <p>下御糸小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりと学級だよりにて活動紹介（菟川水生生物調査・環境保全活動、地域の清掃活動・花で入学式、卒業式の式場を飾る・稲作体験、海苔の養殖加工見学、野菜の種植え・収穫、奉仕作業） ・菟川の環境保全活動、水生生物調査（3・4年生） ・学校近くの生き物探し（1・2年生） ・野菜の栽培体験（全学年） ・資源回収活動

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の清掃活動（5・6年生） ・校舎花壇、畑の整備、花を育て入学式・卒業式の式場を飾る ・綿の栽培（1年生） ・稲作体験にかかわる餅作り（5年生） ・防犯ボランティアの方への感謝活動（全学年） ・UMOUPROJECTへの協力
	<p>齋宮小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子を学校新聞、学級新聞、掲示板へ掲示、広報 ・地域の竹林整備ボランティアの方々と学習会、体験活動（4年生） ・校内美化活動、花いっぱい運動
	<p>明星小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会主催いじめ防止を目指す活動 ・自然環境保護活動について学ぶ ・地域の方と代掻き、田植え、稲刈り、脱穀の体験、地域の方が収穫されたお米の贈呈式で感謝の気持ちを伝える（5年生） ・園芸委員、環境美化委員が校内外美化活動（花を植え、入学式・卒業式の式場に飾る） ・特別支援学校の児童との交流 ・6年生への感謝の気持ちを伝える創作活動（1～5年生） ・昔の遊び道具作り（1年生児童） ・パラスポーツ陸上の選手を招き、パラスポーツの理念や挑戦することの大切さを学ぶ（4年生、6年生） ・環境美化学習、パッカー車の見学（4年生）
	<p>修正小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級通信、学校だよりにて活動紹介 ・地域の高齢者施設「千の手」を訪問、利用者と交流 ・JA、地域の方々と野菜作り ・地域の方に地域に伝わる祭りや昔のことについて学び、学習発表会にて披露 ・6年生に感謝の想いを伝える送る会を実施 ・全校児童で花を育て、防犯パトロール隊や地域の方へ感謝の気持ちを伝え贈る、また、入学式・卒業式の式場へ飾る ・アルミ缶の回収 ・季節ごとの行事を全校生徒で実施

	<p>明和中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の壁新聞にてボランティア活動紹介 ・OBENTO PROJECT 活動参加 ・地域の方の協力の下、学校の畑で野菜の栽培し OBENTO PROJECT に活用 ・赤い羽根共同募金活動に協力（街頭募金活動） ・校内美化活動・環境整備活動（花いっぱい活動） ・子ども食堂イベントに参加、活動 ・社協行事イベント（もう一度ひな祭り）に参加、活動
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で中止となった計画もありましたが、感染予防対策を行いながら地域の方々との対面での交流を実現されています。 ●地域のボランティアの方々との交流を通じ、感謝の心を育む活動が実施できています。 ●地域の清掃活動や地域の方々と共に自然に触れる体験を通じて、地元の自然を大切に作る心、郷土愛を育む活動に力を入れていただいています。 ●農業体験や昔から継承されてきた地域の特産品の加工見学等、様々な体験を通して日常ではなかなか体験出来ない活動を積極的に取り入れ授業を行っていただいています。 ●普段子供たちが接する機会が少ない方々を学校に招いて、子供たちの広い視野を広げる活動にも取り組まれています。 ●障がい者スポーツ選手の講話や交流を通じて障がい者スポーツの存在を学び、障がい者や他者への理解を深め、挑戦することへの大切さを学ぶ機会をつくられています。

8-③. 福祉体験教室

事業目的	<p>地域のボランティアグループや、障がいを持つ当事者の生の声を聞くことや、「体験」を通じて理解を深めていただくために、福祉体験教室を実施しています。</p> <p>相手の立場になって考えたり、共感したりすることのできる温かい心、ボランティアなどの社会貢献をしたいという心を大切に、「ともに生きる力」を育むとともに、自立した個人が、互いにその存在を認め合い、関わりを大切にしながら生きていくという「地域共生社会」の考え方を大切にしています。また将来にわたって自分が住み慣れた地域の福祉に対する理解や関心を持ち、地域社会の中で一人の住民として成長することにより、自ら地域のネットワークづくりに積極的に関わろうとする意識を高めることを目的としています。</p>			
事業実績		体験内容	小学校名	体験生徒数
	令和4年度	点字体験	大淀小学校	4年（13名）
		アイマスク・白杖	大淀小学校	4年（14名）

		車椅子体験	上御糸小学校	4年(43名)
	令和3年度	点字体験	大淀小学校	4年(15名)
		アイマスク・白杖 車椅子体験	大淀小学校	4年(15名)
		アイマスク・白杖、 障がい者スポーツ 体験(グランドソフト ボール)	大淀小学校	5年(22名)
		障がい者スポーツ 体験(ボッチャ、フ ライングディスク、 競技用車椅子乗車)	斎宮小学校	4年(65名)
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度は2校から依頼があり、地域の当事者の方にも協力・参加いただきながら、当事者の方々との交流の中で、障害について理解を深め、関心を持ち、気付きや視野を広げる学びの機会を作ることができました。 ●車椅子体験では車椅子の乗車、介助以外にも福祉車両の見学、乗車、介助体験も実施しました。 ●体験後には子どもたちと当事者間でメッセージを送り合い、思いやりの心、感謝の気持ちを育む交流が生まれました。 ●点字体験ではボランティア団体の活躍と広報の場になり、コロナ禍が続き活動が縮小している中でボランティア団体のモチベーションを保つ機会となりました。 ●昨年度に引き続き、近鉄五十鈴川列車区で駅員の方を対象に高齢者疑似体験、白杖体験、車椅子介助体験、視覚障がい者との意見交換会を4回実施することができました。 ●近鉄五十鈴川列車区においても、当事者である障がい者との意見交換の機会を通じ、相互に理解する学びの場をもつことができました。 ●福祉出前授業を通じて学校、子供たち、社協とのつながりをもつことができました。 ●イオンモール明和店でのSDGsイベントに参加し、特設会場にてボッチャ、手話体験コーナーを開き、広く一般の方にも福祉体験の機会を持っていただけました。 			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も町内各小学校で実施できるよう、PR活動を行っていきます。 ●当事者、めいわサポーター、ボランティア団体、民生委員等の地域住民の協力を得ながら共に参加していただける体験授業を実施していきます。 ●今後も三重県身体障がい者スポーツセンターとスポーツ指導員の協力を得ながら障がい者スポーツ体験授業を実施していきます。 ●様々な視点からの気付きや共感が得られ、互いに認め合い助け合う心が育まれる効果を生み出せるよう、一回で終わらず連続性を持たせた授業を展開していく工夫が必要です。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉体験授業としては、一定の効果を感じていただける内容になっていますが、この体験を通じて学んでいただいた体験後の子どもたちの成長に合わせた、さらなる学びの機会につなげ、学校と継続したつながりが持てるよう工夫していくことが必要です。
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8-④. ボランティア・サマースクール

事業目的	夏休み期間を利用して、小学生を対象にボランティア・サマースクールを実施しています。福祉施設等でボランティアを体験することで、思いやりの心を育むとともに、ボランティアを始めるきっかけづくりや、ふれあい、交流することにより、みんなが共に生きることを学ぶことを目的としています。			
事業実績		開催日数	参加人数	内 容
	令和4年度	1	33	なつまるフェスタでのスタッフ体験
	令和3年度			
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●例年、小学生が日常生活で接することの少ない地域の障がい者の方や普段経験することの少ない体験を事業の中で経験していただく企画を実施しています。今年度は有志の実行委員による地域の夏祭りでのスタッフ体験を実施しました。 ●コロナ禍で他者との交流、関わりが少なくなっている中、地域のみなさんを盛り上げようと縁日やキッチンカー等のスタッフとして担当することで、相手に喜んでもらうこと体験をし、自己有用感を高めることができました。 ●有志スタッフから親切に接してもらうことで感謝の気持ちを育み、参加者、実行委員スタッフ、地域のボランティア、来場者がお互いに思いやる心で事業を実施する事ができました。 			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も福祉施設での体験以外に様々なボランティア体験を通じ、共生、思いやりの心を育める内容にしていくことが必要です。 ●新規参加者等、より多くの子どものボランティア体験をしていただけるよう内容の工夫と共にPR活動を行っていきます。 ●天候に左右されない企画内容の工夫も必要です。 			

9. ボランティアセンター運営事業

事業目的	地域住民のボランティアに関する理解と関心を深めるとともに、個人ボランティアや団体ボランティアの育成及び活動の援助を行います。	
事業実績	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○明和町点字サークル：点字指導 小学校（1回） ○おはなし小槌：大型紙芝居・読み聞かせ ふるさと会（12回）、 いつきのみや歴史体験館（2回） ○明和鈴の音会：広報めいわ録音（12カ月） ○コーラス斎王：コーラスのイベント 町外（1回）、 みょうじょうこども園（1回） ○業平夢太鼓：イベント太鼓演奏（2回）、春祭り地域交流（1回） ○琴の葉：大正琴演奏 えんがわ教室（7回） ○Cherry&grape：下御糸老人会（1回）、なでしこ（1回） ○おたがいさん：生活支援（6回）地域支援（10回） お楽しみ会（2回） ○明和マジッククラブ：えんがわ教室（8回）、 ○アラピカケ：えんがわ教室（7回） ○楽しい読み聞かせの会：えんがわ教室（5回） ○カントリーずう：えんがわ教室（6回） ○横笛倶楽部：えんがわ教室（4回） ○ご近所サロンカフェ寺ス：サロン開催 （33回参加延人数496名） ○竹茗舎：小学校での竹学習（2回）、竹のイベント（1回） ○みんなの食堂こむすび舎@めいわ町（11月まで） ：イベント開催（16回）、居場所（6回）、 OBENTO PROJECT 活動1年を通じて ○淀の会：お花見会（1回）、イベント（4回）、 園内の剪定・草取り整備・水やり随時 ○上野おしゃべり女子会：サロンイベント（10回） ○SANMA BESE：イベント（10回）、キャンプ（1回） ○子育てサロン鈴の種寧：サロン（11回）
	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 明和町点字サークル：点字指導 小学校（1回） おはなし小槌：大型紙芝居・読み聞かせ ふるさと会（8回）、 いつきのみや歴史体験館（2回） 明和鈴の音会：広報めいわ録音（9月のみコロナ感染予防の為中止 11カ月実施） コーラス斎王：コーラスのイベント 町外（1回）、

		<p>みょうじょうこども園（1回）</p> <p>業平夢太鼓：太鼓演奏 明和観光商社イベント（2回）</p> <p>琴の葉：大正琴演奏 えんがわ教室（7回）</p> <p>Cherry & grape：筋力・脳力あつぷ教室（1回）</p> <p>おたがいさん：生活支援ボランティア（29回）地域支援（20回）</p> <p>明和マジッククラブ：町外イベント（3回）、えんがわ教室（10回）、 筋力・脳力あつぷ教室（4回）、みょうじょうこども園（1回）</p> <p>アラピカケ：えんがわ教室（3回）</p> <p>楽しい読み聞かせの会：えんがわ教室（7回）</p> <p>カントリーずら：えんがわ教室（7回）</p> <p>ご近所サロンカフェ寺ス：サロン開催（23回延べ人数296名）</p> <p>竹茗舎：小学校での竹学習（2回）</p> <p>みんなの食堂こむすび舎@めいわ町：イベント開催（10回） 見学会（2回）、フードパントリー（2回）、 OBENTO PROJECT 活動（98回）</p> <p>淀の会：お花見会（2回）、イベント（1回）、 園内の剪定・草取り整備（17回）</p>
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

10. 一般介護予防事業

10-①. えんがわ教室

事業目的	65歳以上の高齢者が、要支援・要介護状態にならないように、必要に応じた介護予防のための事業利用を通じ、その居宅および地域において自立した活動的で生きがいのある日常生活を営むことができるよう支援します。						
事業実績	延人数 (実人数)	令和4年度 (168日)	大淀①	大淀②		上御糸 下御糸	合計人数 1,234 (120)
			168 (17)	262 (25)		103 (8)	
			いつき	勝見	明星①	明星②	
			214 (21)	164 (17)	189 (18)	134 (14)	
	(開催日数)	令和3年度 (168日)	大淀①	大淀②	大淀③	上御糸 下御糸	合計人数 2,099 (168)
			337 (21)	200 (21)	176 (21)	81 (21)	
			いつき	勝見	明星①	明星②	
			380 (21)	318 (21)	310 (20)	297 (22)	
	年齢 (歳)		65～74	75～79	80～84	85以上	合計人数
		令和4年度	3	14	44	46	107
令和3年度		3	17	53	50	123	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症について、令和4年度は感染症対策を徹底し、参加されている方にも感染症対策にご協力いただき、教室を中止することなく開催することが出来ました。 ●新規参加申込者について、利用者からの紹介、他事業での呼びかけにより新規利用につながりました。中止者については長期欠席による体力低下や、入院や病気の悪化により介護保険事業所へ移行された方が多くみられました。 ●運動指導について、棒体操、椅子に座って出来るストレッチ、ゴム紐・ボールを使用した運動に取り組むことができました。教えていただいた棒体操やストレッチはご自宅でも取り入れている方が多いです。体力測定では理学療法士から一言や、アドバイスをいただきました。今年度も感染対策から参加者同士がコミュニケーションをとる体操は取り入れられませんでした。 ●口腔衛生指導では、歯の磨き方など口腔ケアの方法、口腔体操についてご指導いただきました。口腔機能低下についてアンケートを行なうことで口腔状態の把握が出来ました。質問の時間をづくり、口腔内の悩みや気になることを聞くことが出来ま 						

	<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●栄養指導では、食物繊維と骨粗鬆症についてご指導いただきました。調理実演は中止し、簡単な調理法で作れるレシピの資料を配布しました。教えてもらったレシピに参加者が「こんな野菜をいれてもいいかも」とアイデアを出し合い、教室内でアレンジ方法を共有することが出来ました。 ●音楽療法では、歌を歌いながら体を動かす体操、様々な打楽器を使用し全員で演奏するなど楽しみながら取り組むことが出来ました。外出をする機会がなく声を出すことが減っている方も、皆さんと一緒に歌うことが出来て気持ちがよいと喜ばれていました。 ●脳トレプリントを宿題として配布し、ご自宅での活動の1つとして取り入れることが出来ました。参加者同士で問題を一緒に考える様子もみられ、参加者同士の良い刺激となっていました。 ●今年度は、今までなかった団体にご講演いただき、新たな活動に取り組むことが出来ました。参加された方は、初めて聞く内容に大変興味を持っていました。
<p>今後の 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●外出の機会や交流の場が減少しています。交流の場であるえんがわ教室でも、感染症対策で時間が短い分、参加者同士で会話が出来ることが少なくなっています。感染症対策を行ないながら参加者同士の交流が出来るプログラムを作っていきます。 ●鑑賞だけでなく利用者参加型で取り組むことができ、意欲向上につながるプログラムを作っていきます。 ●参加者の高齢化により視力・聴力の低下があります。また、手の震えや痺れで思うように手が動かさない方もいます。参加者の機能に合わせたプログラムを実施し、必要に応じて職員がサポートすることで安心してプログラムに参加できる環境を作っていきます。 ●参加者の高齢化に伴い参加者が減少しています。地域のサロンや老人会に出向く等、呼びかけの方法を検討していきます。

10-②. 筋力脳力あっぷ教室

事業目的	65歳以上の方を対象に運動と認知能力向上に特化した内容で実施することで早期から身体の維持向上、軽度の認知症改善を図り、心身の機能低下を予防していく。そして可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができることを目的としている。					
事業実績		開催日数	延人数（実人数）			
		男性	女性	合計	サポーター数	
	令和4年度	184日	664 (201)	2,262 (713)	2,926 (914)	610 (192)
令和3年度	161日	577 (178)	2,023 (616)	2,600 (794)	623 (229)	
事業評価	<p>●年間開催数 火曜日46回、水曜日46回、木曜日46回、金曜日46回 合計184回</p> <p>運動指導について 理学療法士指導 98回 スタッフ体操 86回</p> <p>【筋力あっぷ】</p> <p>●理学療法士による運動指導はストレッチ、筋力トレーニング、バランスエクササイズを毎回実施し、不定期に二重課題を実施しました。20分程度の講話（糖尿病、認知症、フレイル、熱中症、心不全）を5回開催しました。また2カ月毎に30秒起立テストを実施しました。スタッフ体操では、ラジオ体操やバンザイ体操をとりいれました。</p> <p>●終了アンケート結果より、大半の方が自宅で運動しているとの回答がありました。運動の重要性を認識し、自宅においても運動を継続されていることがうかがえます。ほとんどの利用者が現状維持されていますが、介護申請される方が数名あり、教室時間内に体調不良となる方や自宅でケガや転倒される方もありました。</p> <p>【脳力あっぷ】</p> <p>《栄養指導》</p> <p>●講義1週間前に10品目食品チェックの宿題をお渡しする事により、バランスよく食べる事の意識づけができました。</p> <p>《口腔指導》</p> <p>●新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和され、安心した状態で口腔指導を受</p>					

	<p>けていただく事ができました。口腔ケアが全身の健康につながり、お口の手入れが継続して必要という事をしっかり理解していただきました。</p> <p>《音読・計算・数字盤》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●声をだす音読が楽しいという意見が多くありました。計算や数字盤も時間短縮を意識しながら、取り組まれました。時間がかかる利用者には、最後まであきらめずにやり遂げるようボランティアの協力を得ながら支援しました。 <p>《レクリエーション、交流》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゲームやグループトーク等を取り入れ、隣に座る利用者だけでなく、幅広く利用者が交流する機会を増やしました。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●筋力脳力あっぷ教室が通いの場となり、利用者がほぼ固定化され定員いっぱいの状態が続いていましたが、介護申請される方や本人希望の退会で空きが出てきたため、多くの方が利用できるよう曜日調整を行いました。 ●教室の外に利用者様の気分が明るくなるよう花壇を作ったところ、利用者様自ら外にでて植物を観察したり散歩をするようになり、また自宅の苗を持参されたりして、地域の皆様と共に五感に働きかける環境づくりの一步を踏み出すことができました。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢化が進み、免許返納が増加し送迎対応の方が増えています。 ●体力低下等により、介護予防教室の利用が出来なくなってきた場合の対応を検討していく必要があります。 ●サポーターの高齢化により退会が増え、ボランティアを引き続き募集していく必要があります。 ●集団指導の中で、個別支援が発生する場合のしくみづくりが必要です。

II. 令和4年度 各事業利用実績

1. 居宅介護支援事業プラン作成実績

(実人数：人)

提供月	要支援1		要支援2		事業対象者 ケアマネ ネットA	予防+A 合計	居宅介護支援					総合計	
	予防	ケアマネ ネットA	予防	ケアマネ ネットA			要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		介護 合計
4月	1	7	24	13	1	46	56	51	35	23	11	176	222
5月	1	6	25	13	1	46	56	50	35	23	13	177	223
6月	1	6	25	13	1	46	53	49	32	23	14	171	217
7月	1	6	25	13	1	46	54	48	29	22	14	167	213
8月	1	6	26	12	1	46	51	47	29	22	15	164	210
9月	1	6	24	12	1	44	50	48	30	19	14	161	205
10月	1	6	24	12	1	44	49	52	26	19	14	160	204
11月	3	5	23	14	1	46	48	51	25	19	14	157	203
12月	3	5	23	14	1	46	47	52	25	18	14	156	202
1月	4	4	22	15	0	45	47	49	29	19	12	156	201
2月	4	4	22	13	0	43	49	49	29	19	14	160	203
3月	4	4	20	11	0	39	51	49	29	18	11	158	197
合計	25	65	283	155	9	537	611	595	353	244	160	1,963	2,500
令和3年度	20	73	255	169	12	529	659	620	368	288	112	2,047	2,576

2. 高齢者通所介護事業利用実績

(延人数：人)

提供月	稼動 日数	総合事業		介護サービス					合計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	21	0	44	190	121	189	32	22	598
5月	22	4	45	180	128	195	31	26	609
6月	22	5	52	186	116	197	26	26	608
7月	21	4	54	169	128	157	32	22	566
8月	23	5	54	177	147	173	26	10	592
9月	22	4	52	162	138	170	38	5	569
10月	21	4	50	156	143	171	39	8	571
11月	22	9	52	162	152	178	42	9	604
12月	21	8	61	160	157	164	45	11	606
1月	20	6	46	138	150	172	32	10	554
2月	20	4	63	144	161	156	29	8	565
3月	23	5	63	193	182	178	29	4	654
合計	258	58	636	2,017	1,723	2,100	401	161	7,096
令和3年度	258	0	512	2,383	1,606	1,938	728	322	7,489

3. 障がい者福祉サービス事業（ありんこ）利用実績

(延人数:人)

提供月	稼働日数	生活介護	就労継続 支援B型	合計
4月	21	484	405	889
5月	22	513	391	904
6月	22	419	401	820
7月	21	492	387	879
8月	23	487	381	868
9月	22	496	402	898
10月	21	480	404	884
11月	22	503	390	893
12月	21	477	386	863
1月	20	436	351	787
2月	20	444	388	832
3月	23	504	500	1,004
合計	258	5,735	4,786	10,521
令和3年度	258	6,071	5,065	11,136

4. 地域活動支援センター事業利用実績

・日中一時支援事業

(延人数:人)

提供月	障がい者	障がい児	合計
4月	0	2	2
5月	0	2	2
6月	0	2	2
7月	0	2	2
8月	0	2	2
9月	0	2	2
10月	0	2	2
11月	0	2	2
12月	0	2	2
1月	0	2	2
2月	0	2	2
3月	0	2	2
合計	0	24	24
令和3年度	0	23	23

5. 指定特定相談支援事業所サービス等利用実績

(実人数:人)

提供月	特定相談支援		障害児相談支援		合計
	利用支援	継続支援	利用支援	継続支援	
4月	19	31	7	2	59
5月	9	31	3	7	50
6月	23	32	5	12	72
7月	15	29	13	5	62
8月	18	28	9	9	64
9月	13	31	6	12	62
10月	20	26	4	10	60
11月	9	36	3	8	56
12月	15	25	6	7	53
1月	8	33	8	9	58
2月	10	31	7	4	52
3月	12	27	13	2	54
合計	171	360	84	87	702
令和3年度	164	311	67	60	602

6. 共同生活援助事業(やわらぎ)利用実績

(人)

提供月	稼働日数	実人数	延人数
4月	12	3	36
5月	16	3	48
6月	15	3	45
7月	16	3	46
8月	19	3	57
9月	17	4	66
10月	17	4	67
11月	18	4	72
12月	16	4	64
1月	19	4	71
2月	17	4	62
3月	18	4	69
合計	200	43	703
令和3年度	0	0	0